



駅から、街から、未来をつくろう。

2019年9月11日  
東日本旅客鉄道株式会社  
株式会社 JR 中央ラインモール

## 高架下(東小金井駅～武蔵小金井駅駅間)に学生向け賃貸住宅を新設します

～学生どうしのコミュニティ形成と地域との交流を通じ、中央線沿線での豊かな暮らしを提供します～

- JR東日本グループでは、「生活サービス事業成長ビジョン(NEXT10)」のもと、事業の変革及び創造に取り組んでおり、「住んでよかった」沿線づくりを推進するため、2026年度までに管理住戸3,000戸を目指し、これまで様々なコンセプトで「提案型賃貸住宅」を展開しております。
- このたび、東日本旅客鉄道株式会社(代表取締役社長:深澤祐二)は、グループ会社の株式会社JR中央ラインモール(代表取締役社長:石井圭)と連携し、「提案型賃貸住宅」推進の一環として、中央線東小金井駅～武蔵小金井駅間の高架下に、食事付き学生向け賃貸住宅「Chuo Line House KOGANEI※」(中央ラインハウス 小金井/C・L・H KOGANEI)を2019年9月11日から入居者募集を開始し、2020年春に開業いたします。
- 「Chuo Line House KOGANEI」は、住環境や食事の提供にとどまらず、敷地内に設置されたホールを通じ、学生と地域交流の機会を創出することで、中央線沿線の「豊かな暮らし」の実現を目指します。

※登録商標出願中

「Chuo Line House KOGANEI」(中央ラインハウス小金井)は、沿線に大学キャンパスを多く有する中央線の東小金井駅と武蔵小金井駅の駅間に位置し、延長が約400mとなります。

「プライベートに配慮しつつも、交流を育み新しいライフスタイルを提案する」ことをデザインコンセプトに建築家北山恒氏、谷内田章夫氏、木下道郎氏を起用しました。

また、(株)JR中央ラインモールは発足以降9年間にわたり、駅業務の受託、商業施設 nonowa の運営、各種イベント等の実施を通して地域との連携関係を培ってきました。その関係を活かしながら、併設したホール等において、ご入居いただいた学生と地域を結び付けるプログラムを通じ、学生のさらなる成長や地域のさらなる活性化に貢献してまいります。



物件位置



食堂/カフェテリア イメージ (L棟)

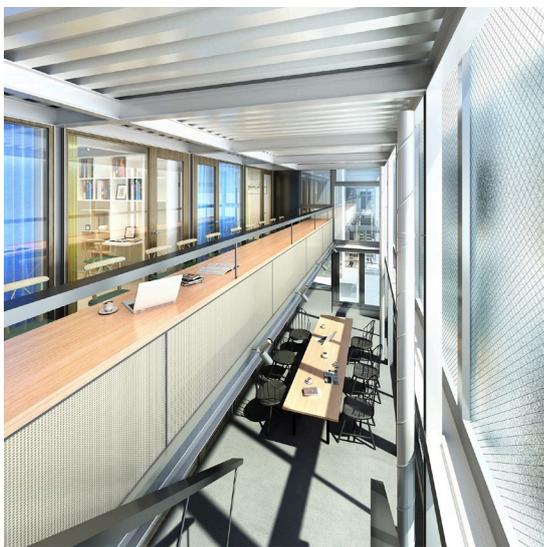
## 1 特徴

### ●Studio タイプと Share タイプ、様々な入居ニーズに対応したデザイナーズ物件

本施設は、居室内設備の充実したプライベート性の高い Studio タイプの部屋(C 棟)と共用部を充実させプライベート空間は最小限の Share タイプの部屋(L棟、H棟)で構成されています。入居者全員が利用できる食堂を完備し、安全性、バランスのとれた食事といった学生寮に必要な機能はもちろんのこと、学生同士の交流のため、各タイプごとに趣向の異なる共用部を設けるとともに、地域との交流のためのホールを設置しています。



C 棟 (Studio タイプ) イメージ  
(設計：谷内田章夫氏)



L 棟 (Share タイプ) 共用部イメージ  
(設計：北山恒氏)



H 棟 (Share タイプ) 専用部イメージ  
(設計：木下道郎氏)

### ●地域との交流

本物件の事業主体である(株)JR中央ラインモールが、(一社)東京学芸大 Playground 推進機構<sup>※1</sup> 及び VIVITA(株)<sup>※2</sup>と協定を締結し、本施設のホール等において、3 社が連携して、地域の子も達と学生が交流するプログラムなどを展開することで、学生同士の交流にとどまらず、学生と地域との交流を通じ、参加する学生の成長を促します。

居住学生のみならず、近隣大学生、大学関係者、地域住民といった多様なバックグラウンドを持つ人々が混ざり合うことで、新たな価値創造を高架下からはじめます。

#### ※1 一般社団法人東京学芸大 Playground 推進機構

国立大学法人東京学芸大学と Mistletoe Japan 合同会社が連携し、2019 年に設立。東京学芸大学小金井キャンパスを拠点とし、生涯にわたって社会の中で新しい価値を創造し続けるような営みを支える環境を「Playground」と定義、「遊び」と「学び」をシームレスにつなげ、産官学民子どもの協働を通じた公教育のアップデートを目指していきます。  
(<https://playground.com/>)

#### ※2 VIVITA株式会社

子どもたちが創ってみたいモノ・挑戦してみたいコトを「好き」を仕事にしている大人たちがサポートし、一緒になって実現する活動をおこなうクリエイティブラーニングスペース「VIVISTOP」を世界 3 箇所(柏市・エストニア・シンガポール)で展開。現在、多くの企業とパートナーシップを組みながら、最先端のツールやマテリアル、柔軟なフレームワークを用いて、子どもたちのクリエイティビティを刺激する環境を作り続けています。( <https://vivita.co/> )

## 2 施設概要

- (1)所在地 : 東京都小金井市緑町1丁目 他  
 (2)交通 : JR 中央線東小金井駅 徒歩 7~11 分、武蔵小金井駅 徒歩 11~15 分  
 (徒歩時間は各部屋の位置に応じて変わります。)  
 (3)敷地面積 : 3,870 m<sup>2</sup>  
 (4)総室数 : 109 室  
 (5)事業主体 : (株)JR中央ラインモール  
 (6)設計 : ワークショップ設計共同体  
 ((有)architecture WORKSHOP、(株)エアリアル、(有)木下道郎ワークショップ)  
 (7)管理運営 : (株)学生情報センター※3

	C棟	L棟	H棟
部屋タイプ	Studio タイプ	Share タイプ	Share タイプ
戸数	46 戸	20 戸	43 戸
全棟共用	食堂/カフェテリア、ホール、多目的スタジオ		
建物規模	鉄骨造 1 階建 10 棟	鉄骨造 1 階建 2 棟 鉄骨造 2 階建 2 棟	鉄骨造 4 棟
専有面積	12.14 m <sup>2</sup> ~15.94 m <sup>2</sup>	10.58 m <sup>2</sup> ~10.62 m <sup>2</sup>	10.44 m <sup>2</sup> ~11.59 m <sup>2</sup>
居室内設備	デスク、エアコン、トイレ、洗面台、バス(乾燥機付き)、キッチン、ロフト、冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、インターネット	デスク、エアコン、トイレ、洗面台、ユニットシャワー、冷蔵庫、インターネット	デスク、エアコン、トイレ、洗面台、ユニットシャワー(乾燥機付き)、ロフト、冷蔵庫、洗濯機、インターネット
共用部設備	宅配 Box	キッチン、電子レンジ、ライブラリーデスク、ランドリー、宅配 Box	キッチン、電子レンジ、宅配 Box

上記概要については今後変更となる可能性があります。

※3 株式会社学生情報センター(略称:ナジック)

設立 1988 年 4 月(2016 年 7 月より東急不動産ホールディングスグループ)

本社所在地 京都府京都市

代表者 吉浦勝博

事業内容 学生マンション・学生寮事業、キャリア形成支援事業、社会貢献活動への支援

コーポレートサイト <https://www.tokyu-nasic.jp/>

ナジックマンション <https://749.jp/>

## 3 その他

開業に向けて公式ホームページを開設するとともに、入居者募集を開始します。

URL : <https://www.chuolinehouse.com/>

**生活サービス事業成長ビジョン (NEXT10) とは**

JR 東日本グループが会社発足から 30 年が経過した 2017 年に、今後 10 年を見据えて策定した生活サービス事業の成長ビジョンです。「CITY UPI」をスローガンに、これまでの「駅を中心とするビジネス」に磨きをかけて、「くらしづくり(まちづくり)」に挑戦します。長期的成長の実現に向けた「4本の柱」として、市中や当社エリア外への事業領域の拡大やオープンイノベーションなどに取り組む「のびる」、駅を中心とした魅力あるまちづくりを進める「ひろく」、地域の活性化や地域間交流の促進を図る「つなぐ」、既存事業の価値を高める「みがく」を設定し、駅の個性に磨きをかけるとともに街の魅力向上に努めます。

**これまで**

駅を中心とする  
ビジネス

**これから**

「CITY UPI」

住んで良かった・働いて良かった  
くらしづくり(まちづくり)

\* 最新情報や取組みの詳細はこちらをご覧ください\*

生活サービス事業成長ビジョン (NEXT10) PR サイト <http://cityup.jp/>